

感染状況・医療提供体制の分析(6月9日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (6月2日時点)	現在の数値 (6月9日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	243人 (12.9人)	93人 (4.9人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要</p> <p>人口10万人当たり4.9人の新規陽性者。新規陽性者数は減少傾向も、60歳以上の新規陽性者数の割合は微増。 緊急事態宣言の効果もあり新規陽性者数は減少も、入院患者など療養が必要な人の数の減少には時間を要している。緊急事態宣言の効果の意味あるものにするため、ワクチン接種も含め現在の感染対策を継続。感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	77人 (32%)	34人 (37%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	133人	50人	→	
		県南西部	96人	41人	→	
		高梁・新見	5人	1人	→	
		真庭	1人	1人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	89人	38人	
割合 (③/①)			37%	41%	→	
医療提供体制	④入院患者数	254人	166人	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル4. 体制が逼迫していると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	52%	34%	→	<p>自宅療養者は31人。入院患者数は減少傾向も、新規陽性者数の減少に比べると減少は緩徐。いまだ病床のひっ迫具合に関してはステージIII相当。手術延期など通常の医療を制限している状況も一部にはある。</p>	
	⑥重症者数	18人	7人	→		